

smile



キラ
笑顔



●ウイングまつばせ自主文化事業「WINGピアノフェスティバル」で、見事な腕前を披露した武蔵野音大2年の西村沙織さん（松橋町松橋）

「母の勧めで出ることにしました。ピアノは小学2年生から本格的に始めました。発表曲(ショパンのポロネーズ第3番Op40 No.1)の練習期間が少なかったのが不安でしたが、楽しく弾くことができました」

子どもたちが野外活動などで貴重な体験
宇城っ子のつどいを開催

宇城市内の小学5・6年生を対象に野外活動や交歓活動を行う「宇城っ子のつどい」が、8月8日から10日にかけて、長崎県国立諫早少年自然の家で開催されました。

小学生40人と市内の高校生ボランティアリーダー11人が参加し、沢登りや星の観察、オリエンテーリング、キャンドルの集いなどを体験。参加者たちはさまざまな体験を通じて、助け合ったり、協力したりすることの大切さを学びました。



沢登りを初めて体験する参加者たち

次代を担う若人の提言
宇城管内市町職員意見発表会

第6回宇城管内市町職員意見発表会が8月18日、ウイングまつばせで開催されました。

この発表会は、宇城広域連合が宇城管内の次代を担う若い市町職員(概ね採用後3年前後)の自覚と士気の向上を目指して、毎年開催しているものです。

各市町から選ばれた代表10人(宇城市から5人)が出席し、日ごろ自分が感じていることや自分の考えなどを発表しました。



梅田 満幸
(福祉課)



中山 健太
(豊野支所市民課)



田川 博之
(都市計画課)



西村 幸一郎
(教育部松橋分室)



寺本 慎之介
(本庁総務課)

宇城市代表5人の
顔触れ(敬称略)

ミニサッカーなどで熱戦を展開
子ども会が球技大会を開催

7月18日、宇城市子ども会球技大会が開かれ、ビーチボールバレーとミニサッカーの2競技で熱戦が繰り広げられました。150人余りが参加。

9チームが出場したビーチボールバレーでは、豊野町山崎子ども会Aが優勝し、8月28日に行われる県大会の宇城市代表に決定しました。

また、11チームが出場したミニサッカーでは、低学年の部で豊野町宮川子ども会が、高学年の部で豊野町下郷上子ども会Cがそれぞれ優勝しました。



ウイングまつばせで行われたビーチボールバレー

4つのRを学んだよ！ クリーンセンターで工場長体験

7月26日、宇城クリーンセンターで一日工場長体験が行われ、宇城市、美里町、城南町の小中学生8人が参加しました。

これはごみ処理体験を通し、ごみ減量の重要性に気づき、資源循環型社会への転換を促す

缶やビンなどの手選別作業を行う参加者たち



きっかけをつくることを目的に、宇城広域清掃施設組合が毎年行っているものです。

参加者たちは施設の概要などを説明するビデオを見た後、センター内を見学。ごみ処理施設では、クレーンを操作してごみをかくはんしたり、ベルトコンベヤーで運ばれてくる缶、ビンなどの資源ごみを、選別したりしました。

リサイクル・プラザでは、リサイクル品抽選会を行った後、職員が使い捨て社会の現状について説明。Refuse(元から断つ)、Reduce(減量化)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)の4つのRの大切さが説明されると、参加者たちは熱心にメモを取っていました。

8人の工場長たちは今後、学んだことを家庭や学校で広めてくれることでしょう。

【宇城市から参加した5人の感想】



戸田 修平君
(三角小6年)

●レジ袋やアルミ缶など、リサイクルすると思った以上に費用がかかることを知りびっくりしました。



橋 広大君
(不知火小6年)

●何気なくごみを捨てていたけど、これからは商品に付いているマークなどを確認して捨てたいです。



坂本 竜二郎君
(松橋小6年)

●職員の人たちが一つ一つごみ袋を開けて分別していらっしやっただけで、大変だと思いき、これからはきちんと分別しようと思いました。



西村 憲治君
(小川小6年)

●缶やビンの選別作業をしていると少しめまがしめました。4つのRを心掛けたいと思います。



中山 美咲さん
(豊野小6年)

●これから物を買うときは、本当に必要かどうかよく考えて買い、ごみを減らすようにしたいです。

防犯グラウンドゴルフ大会結果

7月17日、不知火町松合の農村広場で、不知火町防犯協会松合支部(川本盛二郎代表)主催による「平成17年度夏季防犯グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

上位の成績は次のとおりです。

- 団体の部
 - 優勝 松合仲区A (245打)
 - 準優勝 松合西区A (253打)
 - 3位 松合和田区A (256打)
- 個人の部
 - 優勝 嶋谷信子さん (30打)
 - 準優勝 中尾繁市さん (34打)
 - 3位 早川イツ子さん (37打)
- よく打ったで賞
 - 奥村直市さん (59打)
- ホールインワン賞
 - 東雪子さんほか30人

1年かけて造ったよ 不知火中に土蔵白壁が完成

8月6日、不知火中学校(斉藤博光校長)の正門近くに、高さ1.7m、長さ11mの「土蔵白壁」が完成しました。

これは、不知火町松合の伝統建築「土蔵白壁」の歴史や工法を学ぼうと、2年生が昨年からの総合的な学習の時間で取り組んでいたもの。同中PTA(河野一郎会長)と、同会父親部会(松本雄治部長)の支援を受け、1年がかりで造りました。

生徒たちは、えつりを掻いて、下地をつくり漆くい塗り仕上げ、本格的な歴史や工法を体験。建築費用は、廃品回収収益などを充て、壁塗りの指導は、地元不知火町大見の左官業の田中只男さん(78)らが、ボランティアで行いました。

ボランティア指導の職人さんの最後の仕上げを見守る生徒たち

